

里山の未来を次代へつなぐ

枚方高校生物飼育部がエコ活動で全国2位

◎写真あり

昨年12月14日に第13回イオンエコワングランプリが開催され、枚方高等学校の生物飼育部が普及・啓発部門で全国2位となる文部科学大臣賞を受賞した。『「飼育部ふぁーむ」が守る里山の未来』と題し、人の暮らしと生物多様性が両立できる農業の提案や、小学生らとともに地域の川の生き物調査を行い、里山の生物を守る活動のみならず、次の世代につなげる活動について発表したことが高く評価されたもの。

2月26日には同校が市長を表敬訪問し、大会結果などを報告。同部の八色幸芽(やいろこうめ)さんは「泥上げなど地道な活動が多いが、イベントでの普及活動後に参加した子どもたちから笑顔でお礼を言われることが1番の原動力。今後も生物多様性をたくさんの人に伝えていきたい」と意気込みを語りました。

★イオンエコワングランプリは、高校生が日頃学校単位で取り組んでいるエコ活動を発表し優れた活動を紹介することで、環境への意識がより高まり、多くの学校でエコ活動がさらに広がることを目指したもの。誰でもどこでも取り組むことができる普及性が高いエコ活動を募集する「普及・啓発部門」と調査や実験を通じた検証を行っている専門性の高いエコ活動を募集する「研究・専門部門」の2部門で募集が行われ、毎年全国から約120校の応募がある。主催は公益財団法人イオンワンパーセントクラブ。

★2月26日に、枚方高校校長の寶田先生、顧問の三井先生、生物飼育部23人が受賞報告のため市長を表敬訪問し、受賞した際のプレゼンテーションを披露。「好きな生物は何？」など市長から生徒たちに多数の質問が投げかけられ、和やかな報告会となりました。



<お問い合わせ>

環境部環境政策課 ☎ : 050-7102-6006 FAX : 072-849-1206